



喜ばれるおせっかいで みんなを元気に

須田 文子さん (馬見塚・62歳)

有償ボランティアが、高齢者や障害者らの日常生活で生じるちょっとした困りごとに対するお手伝いとして、見守りや生活援助、外出支援などを行ういきいき・元氣サポート制度。平成22年1月の同制度の発足当初から、いきいき・元氣サポーターとして活動している須田文子さんを紹介します。

長く介護をしていた父を平成20年に亡くした須田さんは、父の介護を行うために取得したホームヘルパーの資格や介護経験を生かしたいと思い、サポーターに登録。以来、一人暮らしの高齢者などの部屋の掃除、洗濯や布団干し、ごみ出し、買い物代行、通院の付き添いなど、多岐にわたる活動をしています。



実際に利用者の皆さんから依頼される困り事は、本当にちょっとしたことですが、どこにお願いすればよいか分からない方が大半だそうです。そういうことに気付いて解決することがいきいき・元氣サポーターの役割だと考えているという須田さんは「ありがたい言葉が何よりの励みになります。利用者が本当に喜んでくれるのを常に感じられるため、続けられているのだと思います」とやりがいを感じています。

「活動の謝礼として受け取る行田市商店共通商品券で孫たちに本を買ってあげたり、趣味のつるしびな作りの本を購入したりするなど、形に残るものに使っています。また、商品券を使うことで地域経済に少しでも貢献できればいいですね」と笑顔の須田さん。「もっといきいき・元氣サポート制度のボランティアとして活動する方が増え、支え合いの精神が広がっていくといいですね。見返りも何も考えずに自然と協力できる社会になればいい。昔のご近所付き合いのような、喜ばれるおせっかい」が理想。これからもそんな気持ちを忘れずに長く続けたいです」と今後の抱負を語ります。

いきいきと活動する須田さんは、今日もみんなを元気にしています。

はじめまして

★★★ 平成29年12月生まれのおともだち ★★★

平成30年2月生まれのお子さんを募集します

○12月3日(月)～28日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
 ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
 ○応募者多数の場合は、1月7日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



二村 麻央ちゃん(長野)
 平成29年12月14日生まれ
 父・健太さん 母・ゆかりさん
 「元気に育ってね」



長谷川 波音ちゃん・迦音ちゃん(埼玉)
 平成29年12月15日生まれ
 父・綾也さん 母・彩海さん
 「産まれてくれてありがとう♡」



野口 蒼真ちゃん(持田)
 平成29年12月15日生まれ
 父・英利さん 母・千秋さん
 「元気で優しい子に育ってね!」



沼尻 晃ちゃん(桜町)
 平成29年12月12日生まれ
 父・学さん 母・彩さん
 「我が家の可愛いわんぱく坊や!」



永沼 叶羽ちゃん(行田)
 平成29年12月14日生まれ
 父・広太さん 母・瞳さん
 「沢山成長してくれてありがとう」



塚越 眞幌ちゃん(埼玉)
 平成29年12月16日生まれ
 父・直希さん 母・美紅さん
 「いつも幸せをありがとう♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!!

ジャパンフード株式会社

さまざまなレストランなどで使用され続ける手作り冷凍ケーキ



会社プロフィール

代表取締役 **田代 録吉**
 【事業内容】冷凍洋菓子の製造販売
 【所在地】持田2373

昭和53年10月の創業以来、さまざまなレストランやカフェで使用され、高い評価を得ている冷凍洋菓子を製造しているのが、今回紹介するジャパンフード株式会社です。

創業者であり、代表取締役の田代録吉さんは、本市の日本遺産の構成資産にもなっている「田代蔵」の田代鐘助商店に生まれました。若い頃は、都内で貿易関係の仕事に就き、当時、日本では珍しかった業務用のニューヨークスタイルのチーズケーキに出会いました。その後、同社の専務で妻の治代さんとともに業務用のケーキ作りを田代蔵のある場所を始め、平成9年には現在の持田市内に工場を建設し業務を拡大しました。

同社で製造されるケーキは、社内のパティシエによって考案され、オリジナルケーキが約150種類、レストランやカフェなどの顧客のニーズに応えたケーキが約100種類にもなります。そして、多品種の少量生産から多

量生産まで幅広く対応し、約30人の社員によって丁寧に手作りされたケーキは、顧客ならびに消費者から高い評価を得ています。また、近年では県の補助金などを活用し、ケーキ以外のオリジナル商品開発にも力を入れており、クッキー生地でもできた飲み物も注ぐことができるおしゃれでかわいい食べられる容器の「フッキーカップ」も誕生。さまざまなシーンでの活用が期待されています。

「創業以来、冷凍ケーキの創作、製造ひと筋に取り組み、さらにおいしいケーキを作りたい、皆さんに満足していただけるケーキを作りたいという一念でやってきました。まだ、おいしいケーキのためにやれることがたくさんありますので、社員も増やしていきたいです」と田代夫妻は笑顔で話します。デザートに対する人々の好みが多様化する中、同社はこれからも丹精込めて作った魅力的なケーキを皆さんに届けていくことでしょつ。

私の作品

俳句

- 忍 大澤 由子
十六夜や余韻に酔いしフェルメール
- 西新町 青木 泰山
写生とは奥深きもの秋深し
- 城南 橋本千枝子
百年を生きる時代や鯛雲
- 須加 須加かつ江
包丁の音にも冬の気配かな
- 富士見町 鈴木スイ子
長堤のコスモスに触れ風に触れ
- 谷郷 大谷 峯生
木の葉髪立ち居の声の力借り
- 南河原 今村 文女
自信作叶わぬ夢や神無月
- 谷郷 羽石 芳道
けもの道さらに分け入り木通狩り
- 旭町 大川 恵子
友偲ぶ秩父礼所の尾花かな
- 荒木 藤田 栄之
この道ときめし山路や冬薔薇
- 持田 中野 華泉
温暖化憂いつ仰ぐ返り花
- 佐間 須永 節子
米びつを清め新米小町の絵
- 忍 伊藤 誠一
鐘つけば落葉散るなり城下町
- 持田 丸山 麟一
星とんでふと途切れたる過去のこと
- 荒木 森田 静
冬鳥の姿見せずに高鳴けり
- 北河原 小林百々子
音読に猫の耳立つ夜長かな
- 持田 伊藤 洋子
沼の面を押し上ぐホテイアオイかな
- 須加 天沼 広吉
甘酒の香りのたのしむ夕餉かな
- 佐間 栗田 健司
稲刈を眺めてさびし老ひとり
- 持田 長田 義子
色鳥の声を聞きつつまどろみぬ
- (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。
 ◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
 広報広聴課へご応募ください。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。